

一般社団法人 日本リハビリテーション工学協会

2013 年度第 7 回（通算第 22 回）理事会 議事録

1. 開催日時：2014（平成 26）年 6 月 1 日（日）11：00～15：02（13：30～14：15 休憩）
2. 場 所：横浜市総合リハビリテーションセンター 4 階会議室

3. 審議事項および資料

- 第 1 号議案（専権等の報告）新入会者の承認についてメールによる承認者の報告について
- 第 2 号議案（専権等の報告）業務執行報告（総務系）
- 第 3 号議案（専権等の報告）業務執行報告（事業系）
- 第 4 号議案（専権等の報告）5 月 31 日統括会議報告
- 第 5 号議案（専権等の報告）事業の後援および協賛に関する承認について（報告）
- 第 6 号議案（決議）新規後援依頼「日本身体障害者補助犬学会第 7 回学術大会」について
- 第 7 号議案（専権等の報告）バリアフリー 2014 出展報告・出展社セミナー報告
- 第 8 号議案（決議）「多機能性電動車いす（車いす）のアンケート調査」協力依頼について
- 第 9 号議案（継続審議）2013 年 7 月～2014 年 4 月までの決算報告
- 第 10 号議案（継続審議）2014 年度の予算について
- 第 11 号議案（決議）事務局設置規則改正の件
- 第 12 号議案（決議）SIG の規程整備（指摘修正分）について
- 第 13 号議案（決議）支部の規程整備（指摘修正分）について
- 第 14 号議案（専権等の報告）第 29 回リハ工学カンファレンス in ひろしまの各 SIG 情報交換をする場所の提供について
- 第 15 号議案（専権等の報告）第 29 回リハ工学カンファレンス in ひろしまの交流会について
- 第 16 号議案（決議）難病看護学会との共同企画の開催の件
- 第 17 号議案（決議）第 30 回リハ工学カンファレンス実行委員会との覚書の件
- 第 18 号議案（決議）新入会者の承認について

4. 理事総数 15 名

出席理事数 14 名

- 会長（代表理事） 繁成剛
- 理事 岩崎満男、沖川悦三、金井謙介、元田英一、剣持悟、相良二郎、鈴木聖貴、高原光恵、塚田敦史、畠中 規、水澤二郎、宮野秀樹、山形茂生
- 監事 井村 保
- 事務局 深野栄子
- 欠席理事 古井 透
- 欠席監事 井上剛伸

※第 15 号議案終了後、山形理事退席

5. 議事の経過の概要及び議決の結果

- (1) 定款第 49 条に基づき、議長となる会長の繁成剛が本日の理事会は定数を満たしたので、有効に成立した旨を告げたのち、開会の辞を述べた。
- (2) 議事録署名人について、議長からの指名により、本日出席理事の水澤二郎と宮野秀樹の 2 名を選出した。

第1号議案（専権等の報告）新入会者の承認についてメールによる承認者の報告について

事務局統括担当の沖川理事より、第5回の理事会以降に理事会メーリングリストによる確認及び承認された3月10日～31日、4月1日～5月22日までの計17名の入会が報告された。

第2号議案（専権等の報告）業務執行報告（総務系）

総務統括担当の鈴木理事より、各業務執行理事の業務執行状況（3月9日～5月31日）が報告された。

なお専権事項の報告については、別途議案提出し審議している。

■ 副会長／公益法人化

- ・ 公益認定申請に対して、公益法人行政サイトを利用して、公益事業毎に事業内容の入力を行った。事業毎に予算管理を行う必要があり、公認会計士との連携が不可欠である。

3月末の公益移行期間の期限を向かえ、15000の既設法人が公益移行を断念したとの報道があった。この原因は公益認定に伴う法人負担の増加から小規模法人が断念したとあり、小規模法人に対する負担軽減が求められるという識者の意見が付記されていた。本法人についても、認定されたとしても、その後の義務を全うできるのかの確認が必要である。これには、年度末までに事業報告、会計報告、予算案等を理事会決議の上総務相へ提出する事務作業も含まれる。

公益認定手続きに関して、NPO法人への見積もり依頼を行ったが、本法人が負担できる金額ではなかった。

■ 総務統括／規則選挙担当

- ・ 定款と定款施行細則に基づき各種規定の見直しと整備を行った。

■ 理事会・総会担当

- ・ 2013年度第5回法人理事会及び事後調整会議議事録の取りまとめを行った（未完成）。
- ・ 2013年度第6回（電磁的手段による）法人理事会開催の取りまとめを行った（議事録等は取りまとめ中）。
- ・ 2013年度第7回法人理事会開催案内及び準備を行った。
- ・ 2014年度定期社員総会資料（素案）の準備を行った。

■ 事務局統括／財務担当

財務関連

- ・ 公益法人化を目標とした財務管理・諸表の整備：前年度に団体・法人を統括した財務管理・諸表を基盤にして、公益法人化を目標とした財務管理・諸表の整備を実施する。
- ・ 新年度予算（案）作成の調整を実施した。

事務局運営関連

- ・ 後援・協賛依頼への承認回答を行った。※後援2件（新規2件、継続0件）、協賛1件（継続1件）
- ・ ホームページの運営管理：会員サービスの一環とし、迅速に情報を掲載した。
- ・ メールニュースの配信：メールニュースを配信し、会員に情報提供を行った。※12月1件、1月1件、2月1件

■ 広報・渉外担当

- ・ 新規の後援依頼「日本身体障害者補助犬学会第7回学術大会（2014年9月20日-21日）」の審議検討（理事会議案提出）
- ・ 「多機能性電動車いす（車いす）のアンケート調査」協力依頼（日本ディスファーマリノパシー患者会）の検討（理事会議案提出）
- ・ 連携を図る前の段階ではあるが、海外向け広報の媒体手段として、Annualreportのような電子媒体の協会報告ができないか、検討を進めた（事後調整会議にて協議提案）。
- ・ リハ工学カンファレンスの当事者団体向け後援拡大について検討した（事後調整会議にて協議提案）
- ・ 協会パンフレットの更新について検討を始めた（事後調整会議にて協議提案）

■ その他

- ・ iCREATEの事務局である、シンガポールのSTARTとタイのNECTECからアジアリハ工学連携の組織化についての会議を6月1日にバンコクにて開催したいという申し入れが届いた。出席可能との回答を送つ

たが、その後タイの政情不安定を理由に延期となった。なお、この会合への呼びかけに対して、RESKO 前会長から大鍋前理事に対して、なぜ iCREATE が音頭をとるのかとの疑義が示されたようである。

第3号議案（専権等の報告）業務執行報告（事業系）

事業統括担当の金井理事より、各業務執行理事の業務執行状況（3月9日～5月31日）が報告された。なお専権事項の報告については、別途議案提出し審議している。

■ カンファレンス担当

- ・ 第28回リハ工学カンファレンス in いわたの決算報告の承認（電磁的理事会）
- ・ リハ工カンファレンス in おきなわの大会長就任内諾と実行委員決定
- ・ 6/3に第一回の打ち合わせが行われる（剣持参加予定）。
- ・ リハ工カンファレンス in ひろしまは、100題近くの演題が集まった。

■ コンテスト担当

- ・ 福祉機器コンテスト2014の選考委員会の設置、協賛・後援の依頼
- ・ バリアフリー2014、ウェルフェア2014での募集要綱配布と展示

■ 協会誌担当

- ・ 協会誌 Vol. 29 No. 2 の発行（2014年5月、1000部印刷）
- ・ 編集委員会の開催（第1回編集委員会、4/5-6@横浜リハ）
- ・ 投稿論文の査読依頼（1件、ただし従来方法による）

■ 分科会・委員会担当

- ・ 4SIG と 2 支部からの活動費申請に対する理事会承認。
- ・ 復興支援講習会のプログラムが確定と企業への協賛依頼。

■ 企画担当

- ・ 第2回東日本大震災復興支援講習会開催（福島市）
- ・ バリアフリー2014 ブース出展および出展社プレゼンテーションの開催
- ・ HCR2014での車いすトレーニングイベントでの下見のため、5/10にパシフィックサプライ主催のセミナーを見学した。

■ 国際担当

- ・ iCREATE の Asian Assistive Technology Alliance (アジアリハ工学ネットワーク) Working Group meeting (5/31-6/2) への参加招待への対応を会長、副会長と協議し相良副会長が参加予定だったが、政情不安の影響で中止。

■ その他

- ・ 業務執行報告の取りまとめと理事会報告
- ・ 各事業担当からの相談対応、前日調整会議のセッティング
- ・ バリアフリー2014 ブース出展および出展社プレゼンテーションの開催
- ・ 高知福祉機器展、HCR2014 調整
- ・ 難病看護学会とのコラボ企画の事前調整（理事会 ML にて井村監事に一任）

第4号議案（専権等の報告）5月31日統括会議報告

総務統括担当の鈴木理事より、5月31日に行った統括会議の報告がされた。

出席者：繁成会長、相良副会長、金井事業統括理事、沖川事務局統括兼財務担当理事、水澤理事会・総会担当理事、深野事務局長

オブザーバー：剣持企画兼カンファレンス担当理事、山形カンファレンス担当理事、高原協会誌担当理事

■ 事業計画案・予算案の精査について

- ・ 事業計画および予算案の検討。
- ・ 予算書を精査し、再度財務担当が精査する。

- 規則・細則の見直し
 - ・ 事務局設置規則について
- 公益法人化について
 - ・ 公益事業の登録（予算関係）
 - ・ 公益事業（コンテスト、協会誌編集発行、カンファレンス、分科会活動、国際協力、セミナー・講習会）
- その他
 - ・ 資格に関する専門委員会設置の検討
 - ・ 支部規則について
 - ・ ppc2014 の出展について

第5号議案（専権等の報告）事業の後援および協賛に関する承認について

事務局統括担当の沖川理事より、前回の理事会以降で、継続依頼のため専権事項として承認回答した後援・協賛依頼についての報告がされた。

第6号議案（決議）新規後援依頼「日本身体障害者補助犬学会第7回学術大会」について

広報・渉外担当の塚田理事より、新規の後援依頼「日本身体障害者補助犬学会第7回学術大会（主催：日本身体障害者補助犬学会 開催日：2014(平成26)年9月20日～21日）があったことが報告され、審議の結果、満場一致で承認された。

承認12、非承認0 ※剣持理事は後援依頼当事者のため議決権なし。

第7号議案（専権等の報告）バリアフリー2014出展報告・出展社セミナー報告

事業統括担当の金井理事より、専権事項として、2013年度事業計画に基づいて、バリアフリー2014の出展および出展社セミナー開催について報告された。

第8号議案（決議）「多機能性電動車いす（車いす）のアンケート調査」協力依頼について

広報・渉外担当の塚田理事より、日本ディスファーマリノパシー患者会様より「多機能性電動車いす（車いす）のアンケート調査」の協力依頼があったことが報告され、協力受諾可否（正会員へアンケート調査協力をアナウンス）について審議の結果、協会がアナウンスする以上は、会員が回答することによる不利益がないことの確認が必要であるため、質問項目内容、回答所要時間等の提示要請した上で判断することとし継続審議とした。

第9号議案（継続審議）2013年7月～2014年4月までの決算報告

財務担当の沖川理事より、2014年2月～4月までの収支計算書総括表、正味財産増減計算書総括表（フロー式）、貸借対照表総括表が提示報告されたが若干の修正点が認められたため、再作成後に決議をすることとして継続審議となった。

第10号議案（継続審議）2014年度の予算について

財務担当の沖川理事より、2014年7月～2015年6月までの活動予算（案）をまとめたものが提示報告された。各事業における無理のない、かつ実効性の高い予算配分をするために、さらなる検討・調整をして予算化することとして継続審議となった。

第11号議案（決議）事務局設置規則改正の件

規則・選挙担当理事の鈴木理事より、定款・定款施行細則に準じ、事務局設置規則の改正案が提示され、審議の結果、満場一致で承認された。

承認13、非承認0

第12号議案（決議）SIGの規程整備（指摘修正分）について

分科会・専門委員会担当の岩崎理事、規則・選挙 担当理事の鈴木理事より、平成25年度第5回（通算第20回）理事会において、第22号議案「SIGの規程整備について」について議論し、一部修正の必要がありとの結論で継続審議となった、SIG 規程（案）、SIG 活動費要綱（案）、SIG 設置認定書の修正案が提示された。審議の結果、協会の公益法人化に伴う不明確な部分もあり、現時点では明文化しきれない等の検討すべき課題があるため再調整することとして継続審議とした。

第13号議案（決議）支部の規程整備（指摘修正分）について

分科会・専門委員会担当の岩崎理事、規則・選挙 担当理事の鈴木理事より、平成25年度第5回（通算第20回）理事会において、第23号議案「支部の規程整備について」について議論し、一部修正の必要がありとの結論で継続審議となった、SIG 規程（案）、SIG 活動費要綱（案）、SIG設置認定書の修正案が提示された。審議の結果、問題点を整理し、支部がどうあるべきかも含め継続審議とした。

第14号議案（専権等の報告）第29回リハ工学カンファレンス in ひろしまの各SIG 情報交換をする場所の提供について

カンファレンス担当の山形理事より、第29回リハ工学カンファレンス in ひろしまにおいて各SIGが集まり、情報交換をする場を提供してほしいとの要望があったが、現段階でプログラムに組み込むことは無理であることをSIG メーリングリストにて回答することとした。

第15号議案（専権等の報告）第29回リハ工学カンファレンス in ひろしまの交流会について

カンファレンス担当の山形理事より、第29回リハ工学カンファレンス in ひろしまの交流会についてカンファレンス事務局より要望があったことが報告され、協会主導で企画しカンファレンス事務局と協議しながら実施することとし、専権事項として進めることとなった。

第16号議案（決議）難病看護学会との共同企画の開催の件

企画担当の剣持理事より、広島でのカンファレンス後に同会場で開催される日本難病看護学会において、難病患者に対する支援を行う立場の方々が集まる絶好の機会であり、両学会の谷間である2014年8月28日（木）に共同企画（共催）を開催したいとの提案がされ、審議の結果、満場一致で承認された。

承認12、非承認0

第17号議案（決議）第30回リハ工学カンファレンス実行委員会との覚書の件

カンファレンス担当の剣持理事より、第30回リハ工学カンファレンスを沖縄で開催するにあたり、実行委員長として金城知子先生（沖縄リハビリテーション福祉学院作業療法学科長）に就任をお願いすることが提案され、審議の結果、満場一致で承認された。

承認12、非承認0

第18号議案（決議）新入会者の承認について

事務局統括担当の沖川理事より、2013年度第5回（通算第20回）理事会以降のメーリングリストによる確認及び承認をおこなった者以降、今回の理事会までの入会希望者（2013年度下半期正会員1名、2014年度入会予約1名）リストが提示され、除名歴等はなく、審議の結果、満場一致で承認された。

承認12、非承認0

議長は、以上をもって一般社団法人日本リハビリテーション工学協会の 2013（平成 25）年度第 7 回（通算第 22 回）理事会に関する全ての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。（15 時 02 分）

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、議長並びに議事録署名人は次に署名又は記名・押印する。

2014 年 6 月 1 日

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会平成 25 年度第 7 回理事会

議 長 繁成 剛

議事録署名人 水澤二郎

議事録署名人 宮野秀樹